

# 愛知サークル5月例会報告

2019年5月26日（日）豊川市一宮生涯学習会館 参加：6名

コンセプト：再点検

## ① 点検「学習集団づくり」追求Ⅰ 文学教材の追求

4月例会の反省から、学級映像を見て「学習集団づくり」という点から再点検し、見つけた課題に対しての手立てを検討することを目指した。が、その前に、教師がどういう学習集団をつくりたいか、学習のねらいは何かを確認した。そして、映像を見るとき視点、子どもたちが集中しているか、意見をもっているか、意見を表明しているか、違いを聴いているか、の4点とした。

[3・4年「雀のこ」・3年「春のうた」・2年「たんぼぼ」]

- 「集中」ができていないとき、理由は何かを考え、手立てを打つ。
  - ・関心がない。・・・なぜ。では、どうすると関心をもつか。
  - ・問題づくりができない。・・・問題づくりの演習をする。作り方を教える。範囲を限定する。
- 「意見を表明する」ができていないとき、理由は何かを考え、手立てを打つ。
  - ・声が小さい。・・・要求して、ちょっとでも無理をしたら評価する。（教師・友達）その繰り返し。
  - ・手遊びをする。・・・教材の提示の仕方どうか。形ばかりのもぐらたたきは、逆効果。中身で勝負する。発言するための中身をつくって、言いたくてしょうがないものをどれだけつくらせられるか。
- 「意見をもつ」・・・意見をもてない理由は何か。
  - ・教師の教材解釈ができていない。
  - ・発問は、どうか。
  - ・考えをもつ時間をとる。友達と相談する。
  - ・つぶやける訓練

3名の映像から、様々な課題が見つかり、それらについて一つ一つ具体的に手立てを検討した。大事なことは、教師自身が今やるべきことは何かを見極め、目指す学習集団に近づくために、流されないで4つの視点を常に意識して実践をし続けることではないかと改めて思った。

## ② 実践報告「追求Ⅱ」

<体育> 「大きい前回り」「補助倒立」

<描画> 「ハンカチ」「花火」

- ・体育でも、図工でもこの授業で何を狙っているかを明確にして取り組む必要がある。また、それは、その学習が次の何の学習につながるかという系統性を考え、今、子どもがどの位置にいるかを把握することになる。
- ・図工の場合、描きたいという心を満タンにさせたい。技能を身に着けさせるために習作も必要だが、題材と触れ合って、描きたいものを見つけさせたい。

○今回も、実践を持ち寄って学び合うことができた。実践報告を優先して、実践から学び合うことを重視していくことの大切さを確認した。